

情報倫理研究プロジェクトについて

日本情報経営学会第57回全国大会
特別セッション「情報倫理」

村田 潔

情報倫理研究プロジェクト主査

明治大学商学部・ビジネス情報倫理研究所

2008/11/8



研究プロジェクトの目的

- 企業情報倫理研究
 - 企業における情報通信技術（ICT）ならびにそれをベースとする情報システムの開発と利用がもたらす社会的影響を適切にコントロールすることを目的として、ICTの開発と利用・普及に関わる倫理問題の識別とその本質の分析、さらには、必要とされる対応策（policy）の提案を行う
 - 社会的存在としての人間の良き生き方の実現
 - より良い社会の実現
 - あらゆる情報体の繁栄



研究課題例

- Information ethics in the **global** business environment
- Invisibility of computing and **fair** information behaviour
- Personal data use and **privacy** protection in business organisations
- **ICT professionalism** in Japanese business environment
- Information **security and societies**
- **Gender** and computing in Japan
- **CGM**-related ethical issues
- ICT and **Intellectual property right** ...



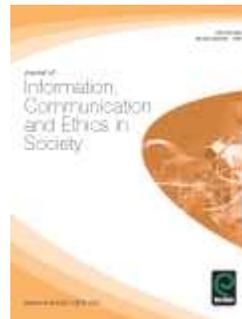
研究プロジェクトの概要

- 研究期間: 3年間
 - 2008年10月～2011年9月(3月?)
- 研究拠点
 - 明治大学ビジネス情報倫理研究所(CBIE)
 - www.kisc.meiji.ac.jp/~ethicj
- メンバー
 - 現在募集中!
- 定例研究会
 - 2008年12月20日(土) 午後2:00～5:30



研究プロジェクトの概要

- 目標とするアウトプット
 - 日本発ワールドレベルの研究成果
 - 日本の技術・社会・文化は注目されている！
 - 国際会議
 - ETHICOMP
 - CEPE ...
 - 専門学術誌



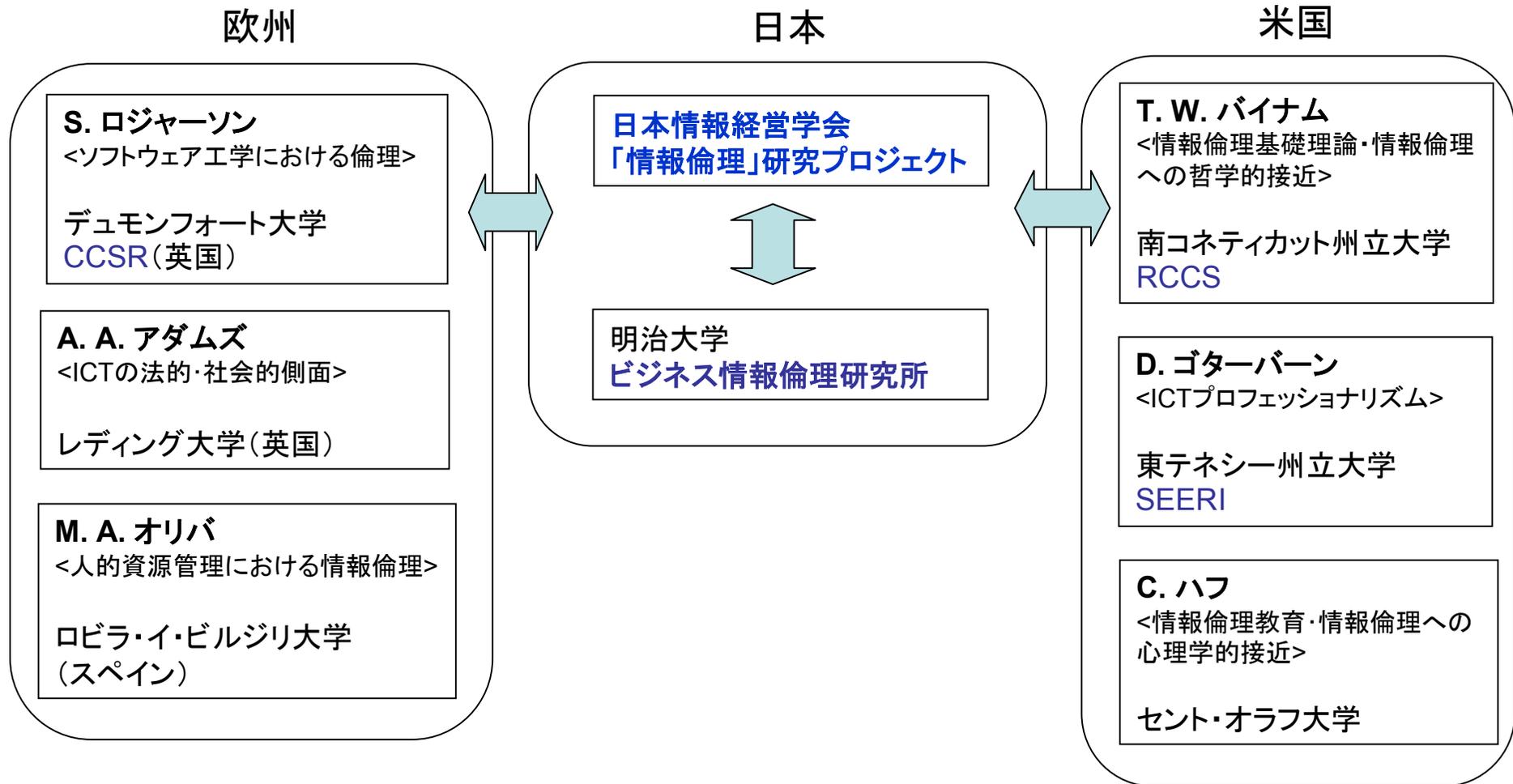
IRIE

International Review of Information Ethics

- 国内での成果発表



研究体制：研究者ネットワーク





情報倫理問題への興味

- N. Wiener
 - “*The Human Use of Human Beings*”
(Wiener, 1950; 1954)
 - 社会が情報と通信に依存する「自動化時代」における情報体 (information object) としての人間の良き生き方
- 1970年代 コンピュータ犯罪
 - プロフェッショナルの犯罪
 - サラミ
 - コンピュータ倫理教育
 - W. Maner / T. W. Bynum / D. Johnson



コンピュータ倫理の確立

- Moor (1985; 1998)
 - コンピュータ技術の論理的順応性
 - 論理処理を設定できるどのような活動にも適用可能
 - ユニバーサルツールとしてのコンピュータ
 - コンピュータ技術による社会変容
 - 情報エンリッチメント
 - 不可逆性
 - ポリシーの空白
 - 概念の混乱
 - 投票とは何か？
 - 支払いとは何か？
 - 音楽鑑賞とは何か？
 - 職場とは何か？



コンピュータ倫理の確立

- 不可視性
 - コンピュータ濫用の不可視性
 - プログラムに埋め込まれている価値判断の不可視性
 - コンピュータによって実行しうる複雑な計算処理の不可視性
- 不可視性の「組み込み」
 - モジュール化設計／オブジェクト指向設計
 - モジュール／オブジェクトの再利用化
- 開発初期段階での情報倫理問題への取組みの重要性



コンピュータ倫理の確立

- Gotterbarn (1991)
 - コンピュータ倫理はコンピューティング専門家の職業倫理としてとらえるべき
 - 問題の焦点の明確化 → Proactiveな対応
 - 「ソフトウェア・エンジニアリングのための倫理ならびに専門職実務綱領」
 - <http://seeri.etsu.edu/Codes/default.shtm>
 - SoDIS (Software Development Impact Statement)



情報社会の脆弱性

- 現代情報社会
 - データベース技術・ネットワーク技術への依存
 - 脆弱性
 - 災害
 - 人的エラー
 - 技術的アタック
 - エコロジー
 - » グリーンIT
 - 情報システム品質＋情報品質
 - QOL
- ネット・モバイル社会
 - 情報の発信・流通・ゆがみのコントロールの困難さ
 - ネットアイデンティティ
 - データダブル
 - 身体の喪失
 - » 「人間とはデータである」



情報社会におけるあらゆる存在物の繁栄

- Floridi (2006)
 - マクロ情報倫理への転換
 - 存在中心的, 受け手指向, エコロジカル

- Bynum (2006)
 - General flourishing ethics



- まだ議論は尽くされていない
 - 企業の実態と実務に根ざした情報倫理の議論は不足している
 - 企業倫理・企業統治・CSRとの関連性
 - 第1回研究会(兼JSIM関東部会)
 - 2008年12月20日(土) 午後2時～6時
 - 場所: 明治大学駿河台校舎リバティタワー 1093教室